

第105期 中間決算公告

栃木県宇都宮市西2丁目1番18号
株式会社 栃木銀行
取締役頭取 小林 辰興

中間損益計算書

〔平成19年4月 1日から
平成19年9月30日まで〕

(単位：百万円)

科 目	金	額
経 常 収 益		27,095
資金運用収益	21,191	
(うち貸出金利息)	(17,141)	
(うち有価証券利息配当金)	(3,667)	
役務取引等収益	2,335	
その他業務収益	397	
その他経常収益	3,172	
経 常 費 用		22,572
資金調達費用	2,638	
(うち預金利息)	(2,638)	
役務取引等費用	1,472	
その他業務費用	680	
営業経費	13,597	
その他経常費用	4,183	
経 常 利 益		4,523
特 別 利 益		695
特 別 損 失		530
税引前中間純利益		4,688
法人税、住民税及び事業税		1,640
法人税等調整額		278
中 間 純 利 益		2,769

注 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 1株当たり中間純利益金額 24円 37銭

3. 「その他経常費用」には、貸出金償却 838 百万円、貸倒引当金繰入額 2,853 百万円及び株式等償却 14 百万円を含んでおります。

4. 「特別利益」は、償却債権取立益 695 百万円であります。

5. 「特別損失」には、固定資産処分損 28 百万円、減損損失 88 百万円及び当中間期の期首に計上すべき過年度相当額である役員退職慰労金繰入額 293 百万円を含んでおります。

6. 当中間期において、以下の資産グループについて営業キャッシュ・フロー及び継続的な地価の下落等により、割引前将来キャッシュ・フローの総額が帳簿価額に満たないことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額 88 百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

場所	主な用途	種類	減損損失
群馬県	営業店舗1ヶ所	土地及び建物	88百万円

資産のグルーピングの方法は、営業店舗については、最小区分である営業店単位で、遊休資産については、各々個別に1単位としてグルーピングを行っております。

また、本部、研修所、寮住宅、厚生施設等については、共用資産としております。

なお、当資産グループの回収可能価額は使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを4.57%で割引いて算定しております。